



花冷えの「お花見会」

恒例の「お花見会」は今年から本来の場所（都立狭山公園内 堤防の下）に戻り、4月4日（日）に開催された。堤防の補強工事により、数年前と比べて桜の木はかなり減少、以前の面影からすると少し寂しく感じられた。

今年は開花宣言後気温が例年より低く、当日は11.9度と2月下旬の気候。その中でこの会を毎年楽しみにしている会員・家族（参加者名は下記）34名が午前11時に集合、宴がスタートした。まずは小亀会長。お花見の由来から始まり、我が稲門会の課題と今後の展望、そして何より早稲田を愛する気持が会の源であると強く訴えられた。次に毎年参加されている国分寺稲門会の吉田辰雄氏、東村山稲門会は何故これだけ多くの会員が集まって、いろいろなイベントが行えるのかという、嬉しい質問もいただいた。（毎月発行のニュースが大きな力ですと筆者から話しました。）乾杯は山下元会長、開花から2週間、良くこの日まで花が待ってくれたと感謝の言葉、ご自身の体力・気力の復活をアピールされた。

毎年のことであるが、多くの皆様から飲物・食べ物の差し入れ。寒さからかビールより日本酒、そして焼酎のお湯割り。特筆だったのが當摩彰子副会長の手作り「おでん」、前日からじっくりと味をしみ込ませ、絶品の味で正に当日の気候にもピッタリ、あっという間に完食となった。（暖かいまま食べられるようにと、ジャーも用意されたのは、主婦の鏡という声があがりました。）

時の経過と共に歓談の輪は幾重にも広がり、話題は故郷のこと、家族のことや、やはり健康の話、予定時刻の午後2時はあっという間で最終章。當摩照夫氏の音頭で楽譜無しの「東村山稲門会の歌」と「校歌」。後片付けは全員の協力ですべてよく、そして三々五々帰路につきましたが、帰宅後家庭での話題は何だったのでしょうか。

（當間昭治記）

お花見会 参加者34名（敬称略）

青山 稔・赤荻 洋一・阿部 茂・石塚 征雄・江藤 昌明・
大内 一男・岡田 一郎・小野 智・風間 和夫・木谷 肇・
小亀 輝雄・小林 傳・鈴木 国夫・高橋 正夫・高部 素行・
高鷲 近・田口 政澄・月森 通夫・土橋 雄次・當摩 彰子・
當摩 照夫・當間 昭治・戸田 志郎・長井 治・額田 伊久夫・
野田 数・福田 昇七・松永 常尚・三宅 良太・山下 邦康・
吉田 辰雄（国分寺稲門会）・小亀 夫人・木谷 夫人・
山下夫人





○ 6月 定例役員会

日時：平成22年6月5日（土）13:00～14:30
場所：ふるさと歴史館視聴覚室

役員会には会員の皆様はどなたでも参加できます。是非ご出席頂き稲門会の活動等についてご意見をお聞かせください。

○ 第68回雑学講座

日時：平成22年6月5日（土）15:00～16:30
場所：ふるさと歴史館視聴覚室
講師：守屋幸一郎氏（当会会員 昭41政経卒）
演題：「私の早稲田と早稲田スポーツ」

佐賀の大隈重信と土佐の岩崎弥太郎（守屋氏は三菱マテリアルOB）との結びつきから、東京専門学校設立の決断の背景、そして早稲田スポーツと大隈侯の関係といったバックグラウンドを解説していただきます。そして、守屋氏が現在もっとも力を入れている早稲田ラグビーの話もたっぷりとしてもらいます。

○ 「納涼会」について

昨年復活した「納涼会」、今年は7月25日（日）に予定しています。詳細は6月号のニュースでお知らせしますが、是非予定に入れておいてください。

○ 名簿の住所変更

小野浩一さん 〒189-0014 東村山市本町2-33-4
セザールプラザ東村山706
電話 042-306-1713

○ 退会

西村守正さん（小金井市）
下村敏行さん（青葉町）

○ 六大学野球に優勝旗

東京六大学野球連盟は今春のリーグ戦優勝校に優勝旗を送ることとなった（朝日新聞社寄贈）今までは天皇杯や連盟杯などが授与されてきたが、優勝旗はなかった。西陣織で作られ、サイズは通常より一回り大きい91センチ×140センチ。

早稲田の斎藤主将は早稲田実高時代に頂点に立った夏の全国高校野球選手権大会を思い出したようで「あの深紅の大優勝旗に似ていますね。ぜひ、また手にしたい」と優勝を誓った。

○ 早慶が囲碁教室

早稲田大学と慶応義塾大学で4月から、新たに囲碁授業が始まる。早稲田は「囲碁で学ぶ数理科学入門」で、黒滝正憲七段が担当する。定員30人。慶応は、卒業生の梅沢由香里五段が環境情報学部特別招聘講師として「囲碁」を開講する。定員40人。いずれも初心者の学生が対象で7月まで15回の講座で、単位として認定される。（大学もかわりましたね。）

○ 三多摩支部・支部会計の会計監査および引き継ぎ

4月20日（火）八王子学園都市センター 小亀会長、風間副会長兼事務局長出席

○ 三多摩支部・会長会 4月30日（金） 大隈会館 小亀会長、風間副会長兼事務局長、當摩彰子副会長・岡田・高橋（正）幹事出席
（25稲門会の会長副会長等が集まる）

○ 他稲門会等出席

5月22日(土) 調布稲門会 調布市文化会館 小亀会長・風間副会長兼事務局長出席
 5月23日(日) 西東京稲門会 東伏見校舎 小亀会長出席
 5月23日(日) 町田稲門会 ホテルラポール 風間副会長兼事務局長出席

○ 稲門祭実行委員

本年度稲門祭実行委員には昨年に引き続き高鷲 近さんと高橋正夫さんにお引き受け頂きました。4月6日に第1回実行委員会が行われました。皆様のご協力をお願い致します。

○ 早稲田狂言の夕べ

校友会設立125周年を記念して、4月22日大隈講堂に立派な能舞台が作られ、狂言の夕べが行われました。善竹十郎氏(早大・政経卒)とお二人のご子息による「二人大名」および野村万作氏(早大・文卒・人間国宝)および万作氏の外孫に当たる野村遼太氏(早大在学中)・野村万之助氏による「木六駄」が演じられた。なお、万作氏のご長男萬斎氏が推薦校友となられ、来年からは萬斎氏も加わり、春の定例行事となる予定です。

訃報

当会会員下村敏行氏(S22・政経・87歳)が4月20日逝去なさいました。
 心からご冥福をお祈り申し上げます。
 なお、会則により、生花をお供えいたしました。

○ 白井総長を囲む 稲門ハワイの集い

白井総長は去る3月31日をもって早稲田大学を退職していますが、総長の任期は11月4日まであります。そこで白井総長の2期8年にわたる献身的なご努力に感謝し、白井総長を囲んでのハワイの集いを計画しました。(主催 稲門ハワイの集い実行委員会早稲田大学校友会事業委員会内設置) 期間は9月9日～14日(6日間)で白井総長を囲むパーティーは9月11日(土)ロイヤル・ハワイアンホテル(これだけの参加も可)です。参加希望者はパンフレットを差し上げますので、小亀(394-6951)までご連絡ください。

○ 第67回雑学講座 懇親会も盛大に実施

第67回雑学講座は100名以上の出席を得て、4月10日新装なった東村山駅西口「サンパルネ」で実施、(レポートは今回世話人の福田昇七氏により別掲)午後5時過ぎより場所を「丸籐」に移し、住田講師を囲んでの懇親会を行った。

住田氏は多くの企業で経営に携われ、その一方で直接仕事とは関係ない「オペラ」に興味を持たれ、辞典まで上梓されるなど、理想の生き方をされているとの声があがった。また、軽妙な語り口は大変魅力的で、機会があれば又という意見も聞かれた。

「地元には何か貢献する稲門会でありたい」小亀会長から熱い思いが語られたが、その意味で会員より一般の方が多かった今回の雑学講座、そのスタートになった感もある。利便性抜群の「サンパルネ」をどう活用していくか。それに企画がマッチすれば、なにかやれる。そうした声が参加者から聞かれたのは収穫であった。

当初15名で予定していた会も最終的には21名。その中に前回雑学の講師の池田孝氏、そして池田氏の友人で慶応大出身、テレビ朝日に勤務されていた川邊喬氏(久米川町在住)も同席された。

川邊氏には東村山に是非三田会を作ってほしいと熱いエールが送られ、又ご令嬢が稲門ということで、一層の親しみも感じられた。

予定の時間少し前に住田講師が退席、終わりはいつもの歌で盛り上がるが、今回はおまけあり。東村山稲門会の歌の前に「若き血」を全員で大合唱、最後の「都の西北」へと続き、楽しい会はお開きとなった。

(當間昭治記)

☆☆先月号の『お誕生会報告』で、山室勲氏は昭和31年生まれとなっておりましたが、正しくは昭和9年生まれでした。訂正してお詫び申し上げます。☆☆

第67回 雑学講座 「本物のテノール歌手の条件とは」



平成22年 4月10日 於 東村山サンパルネ
講師 住田誠蔵 福田昇七 記(稲門会幹事)

東村山稲門会の恒例の雑学講座は、今回で第67回を迎え、昨年9月新装オープンした東村山サンパルネ・コンベンションホールで開催された。同ホールは映像・音響の設備を完備しており、これを機会にこれらの設備を駆使して音楽をテーマにした初めての講座を企画した。

講師を昨年九月に「魅惑のハイ C、テノール大辞典」(2586名蒐集、文芸社)を編纂した住田誠蔵氏に依頼した。同氏は「本物のテノール歌手の条件とは」というタイトルで、オペラを実際に聴いてきた体験と膨大なコレクションから、テノールのアリア16曲を選び、世界の一流テノールの、50年以上昔から最近に至る貴重な映像記録を披露して解説された。この期間の映像撮影、録音の技術変遷、発展も、実に興味深く味合うものが有った。

男性の声は低音(バス)が悪魔・僧侶・軍人・老王などの役を歌い、中音域(バリトン)の歌手は悪役を務めることが多く、高音即ちテノール歌手は若い恋人・王子・若い将軍・主役の貴族の役を歌うので、高音の歌手志望者は多い。しかし本場イタリアでは、ト音記号の五線紙の上を飛び抜けて上に線を2本追加した超高音(3点C音)通称「ハイC」を歌えなければ、プロのテノール歌手としては認められない。そして、声が細いがハイCを楽に歌う「レジェーロ」から中間の「リリコ」、力強く太い強大な声量の「ドラマチコ」とそれらの間の音域を2種加え5種類に分けられる。人間は誰もが力強い逞しいものに惹かれるが、実際には太いドラマチコの声の持主は極めて少なく、細目の声の歌手が太い声のための歌を歌う例が多い。逆に細い声の持主は、超高音をラクに出せる人が多く、作曲家もこのタイプの歌手を想定したオペラをたくさん作っていて、どれもが超高音を出さなければ歌えないように作られている。そこで細い声で超高音を出せなくなった歌手は出番が無くなるのだが、そのようないわば本物でない歌手は、前述のように声が細いのに太い声のためのアリアを歌うか、超高音が出せないで、指揮者に頼んで「音を下げてもらおう」という手を使って舞台に出るのである。今回の講座で貴重な時間を使って、この様なニセの歌をお聞かせするのはもったいないので、全部本物を聞いて頂いたが、今後どこかで偽者をお聞きになる機会が有った時、確かに雑学講座で聞いた歌手とは違うとお感じて頂ければ、この講座がお役に立ったことになる。

二時間近い講座のおよそ7割の時間が、歌手の歌の視聴に当てられたが、その前にオペラもクラシック音楽も決して高尚な上品なものだけではなく、不倫・殺人・詐欺・戦争など子供には見せられない場面も多いという説明があり、正装して改まって出席する人は現在は少数派になった言うことであった。

視聴した歌は、故山路芳久の「人知れぬ涙」「女心の歌」、小林一男の「連隊の娘のトニオのアリア」のほか、マリオ・デル・モナコの「オテロの登場」、さらにトロヴァトーレからマンリーコの「見よ恐ろしい炎」、ノルマからポリオーネの歌が日本人には歌えないアリアとして大音響で披露され、最後に最も細い声の例として、宗教曲から2曲が取り上げられた。

さて、聞いて頂いた方々の反応であるが、今回は一般公開した市民の方の参加も多く100人を超える盛況でご婦人方も多く、しかも講演中、中座する方が全く無く、全員が非常に熱心に聴いて頂いたのが印象的だった。また平素は聴く機会の少ない超一流歌手の、声量豊かな迫力有る美声が会場を揺るがしたのも、極めて稀な経験であり、来場の皆様にはご満足いただけた事と思う。

なお、講師の住田氏は1935年生まれ、早大一法中退後1959年一橋大学社会学部卒業、数社勤務後、主にダイエーで、故中内功氏の元で、販売促進の専門家として活動し、関連企業数社の代表を歴任後、趣味の音楽とパズル作りに専念されている。

同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

旅行同好会

世話人 風間和夫 TEL 394-5279
青山 稔 393-8372



お待たせしました。第7回旅行会が近付いて来ました。
今回の旅行会の詳しい内容はすでに稲門会ニュース第155号その他でお知らせしたとおりですが、期日・時間・集合場所等、間違いのない様よく確認して下さい。

6月号ニュースでは発行日の関係上、旅行案内は掲載しませんので今回のニュースが最後のご案内になります。

どうぞ体調管理をしっかりとて元気に当日を迎えて頂きたいと思います。

記

1. 期日 平成22年6月7日(月)
2. 時間 AM7時30分発
3. 場所 東村山駅 東口ロータリー集合

宿泊 芦ノ牧グランドホテル Tel 242-92-2221 (代表)
バス メモリーサイト観光バス (国際思い出観光KK)

園芸の会

世話人 當摩照夫・彰子 TEL 396-3033



4月13日(火)に藤澤リーダーご夫妻を始めとするいつものメンバーが16人集まり、1月に交換会を行ったさくらそうの芽を、心込めて育てて開花させた株をみんなで持ち寄って、恒例の鑑賞会を行いました。相変わらずの異常気象の連続に各自苦戦のようで、今年は全然だめでした、というため息も聞かれた中、人気投票の結果、今年も山下夫人がトップに選ばれ、2年連続の快挙となりました。同率1位に當摩、3位には土橋さんが選ばれました。

4月20日には今年も深大寺植物園にさくらそうの鑑賞に出かけました。次回は下記の通り5月14日に春蒔き草花の苗の交換会を行います。数多

くの方の参加を期待しております。なお、皆で丹精した苗には数に余裕もありますので、育ててみたいという会員の方は世話人までご連絡下さい。ポット植えにしてお分けいたします。

記

日時 平成22年5月14日(金) 午後3時～5時
場所 東村山市市民スポーツセンター、スポーツクラブ室

ゴルフ同好会

世話人 井垣和太 TEL 04-2924-2934

恒例の春季ゴルフコンペも終了し、これからは会員がそれぞれ仲間で誘い合っのゴルフで腕を磨き、次の稲門会公式戦に備えることになります。

しばらくは、ゴルフの面白さを知って貰うために、12年ぶりに知って得するゴルフショートショート18回分を再録します。

自分が書いたのに読み直すと結構笑ってしまいました・・・。

知っ得ゴルフ(1)

ゴルフは穴へ入れるゲーム。穴をホールといいます但其の大きさは直径108ミリ。108はどこかで聞いたなと思う数字ですが、除夜の鐘と同じ数。即ち人間の煩惱の数と同じ。この穴目指して我先に争って棒を振り回すあなた。間違っても「今日の穴は小さくて入れ辛い」等と言ってはいけません。

『欲ばっかりかいているから入らないのよお客さん。』

ウォーキングの会

世話人

高橋正夫
土橋雄次TEL 309-3407
393-5708

第19回ウォーキングの会「柳瀬川・清瀬金山緑地公園散策」を下記要領で行ないます。
事前の申し込みは不要ですので当日ご都合のつく方の参加を歓迎します。カワセミ・マニヤのカ
メラ放列が見られます。雨天の場合は中止。

- 1) 集合日時： 5月22日（土） 午前10時
- 2) 集合場所： 西武池袋線・秋津駅南口 武蔵野線・新秋津駅ではありません。
- 3) 行 程： 秋津駅より空堀川へー 円福寺ー清瀬せせらぎ公園ー清瀬金山緑地公園
ー金山調節地ー東福寺ー 武蔵野線・東所沢駅

参加費無料。但し交通費、昼食、飲み物は各自負担。
小雨の場合は9時までに世話役にお問い合わせ下さい。



第18回ウォーキング記（3月27日）

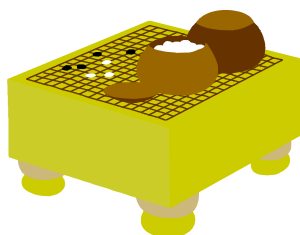
今回も晴天に恵まれ、スタート地点の築地本願寺で健康祈願のあと、
聖路加病院前の慶応義塾と立教の発祥の地を知り、隅田川沿いから佃
橋を渡って、元祖佃煮の店に立ち寄ったあと、60軒以上のもんじゃ
焼き店が並ぶ月島通りで、もんじゃ焼きを賞味した。食後、隅田川一
帯の運河通りをウォーキング、今は開閉されない勝鬃橋を渡って、築
地に戻り、最後は築地市場へ。各自お土産物物色などありここで解散
（高橋記）

となった。

参加者：阿部・小亀・高橋・三宅各夫妻、土橋、豊田、額田（敬称略）

囲碁同好会

世話人

福田 晃
高 鷲 近TEL 394-0593
394-2336

●4月の「例会」は、4月17（土）、午後1時より、いつもの市民セ
ンター別館、第六会議室で9名が参加して開催されました。

「例会」は、棋力に関係なく、楽しく参加できますので、囲碁のルー
ルをご存じのかたは、ぜひお出かけください。

<参加者／敬称略> 江藤・佐野・八木・野村・堀田・中川・丸本・
鈴木・福田

○「第10回オール早稲田囲碁祭」が、6月5日（土）、午前9時30
分より、市ヶ谷日本棋院（2階大ホール）にて開催されます。

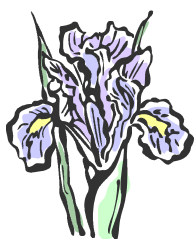
我が東村山稲門会からは、江藤・八木・高鷲・鈴木・福田の5名が団
体戦に出場予定です。

俳句同好会（稲酔会）

世話人

井垣和太

TEL 04-2924-2934



第49回「稲酔」俳句会が4月24日（土）午後1時から恩多ふれ
あいセンター和室で開催されました。

俳句同好会がスタートしてから7年目に入り、実動会員も13名と
充実の一途を辿っています。隔月に20冊発行の句会報も次回で50
号を数えます。

今回の参加者は、三郎、稲雀、麦穂、回生、和夫、瑞雄、哲哉、糸
行、愼、北窓、の10名。投句参加の梶、竜湖を加え、12名60句
という満開の中での楽しい「稲酔」句会でした。

兼題の「遅日」と近詠の中から、5名の参加者に選ばれた

古本を売るか残すか暮遅し

麦穂

が最高点句となり、「丸藤」2階の部屋に掲示されることになりました。当会の短冊額は一般の
お客さんの目にもとまり、酒肴の間の話題にも上っています。

第50回「稲酔」俳句会は6月26日（土）午後1時からふるさと歴史館研修室で開催します。

兼題は「梅雨」一切です。

（稲雀 記）

テニス同好会

世話人 田島 隆夫 TEL 396-7676



4月の例会は、前日に降った雨のためコートがクローズとなり、残念ながら中止となりました。今後は運動公園のコートの使用も考えなければと思っています。

今後の予定

5月10日(月) 9時～11時 久米川コート3 (5月10日クローズ場合は、5月17日(月)同時刻、同コート)
 6月14日(月) 15時～17時 運動公園Bコート
 (6月14日クローズの場合は、6月21日(月) 9時～11時 久米川コート3)

カラオケ同好会

世話人 内藤 慎 TEL 393-5071



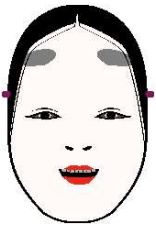
4月例会を4月10日開催、櫻咲く春の宵を楽しみました。参加は、井垣氏、井手氏、高部氏、滝川氏、高鷲氏、南湖氏、内藤それに初参加の池田氏と友人の慶大卒の川辺氏の9名賑やかな一夜でした。お気軽に御参加をお待ちします。

今後の予定

5月8日(土) 19:10 カラオケラントﾞﾞ
 6月5日(土) 19:10 カラオケラントﾞﾞﾞﾞﾞﾞﾞﾞﾞﾞﾞﾞﾞﾞﾞﾞﾞﾞﾞﾞﾞ

追記

例年開催しております新宿(めぐみ)での出張カラオケ大会を、7月16日(金)17:00-20:00開催予定。未だ日にちが有りますが予定を確保して下さい。



能の話

成田延雄 (S28理工)

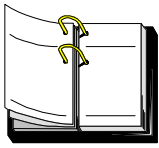
東村山の公団団地に住み始めて52年が経ちました。この団地に入居して5～6年目に、団地自治会新聞で宝生流謡の会の会員募集を知り入会しました。同じ団地に住まわれていた早稲田大学の先輩(商学部)である小磯さんから宝生流能楽の謡を教わったのが始まりでした。当時は明交会(老人クラブ)の方々が主な会員で、いずれも会社をリタイヤされた人たちで会社現役の私が一番若いという状態でした。団地の集会所で週1回の稽古日で個人レッスンを受けました。「万葉かな」で書かれた謡本を小磯先輩の謡方の口写しで習いました。半年の1回のおさらい会での後で宴会が楽しみで、結構酒豪の方が多かったと記憶しています。小磯先輩は、戦争中朝鮮総督府長官を勤められた小磯陸軍大将の弟に当る人で、富士銀行に勤めておられ、終戦時には大変苦勞された話を聞かされました。その後東村山の小学校の先生や中学校の先生が数人入会されたり、お年寄りの会員が亡くなられたりして構成メンバーが変わりましたが、おさらい会の後の宴会の楽しみは続きました。

この会はその後10年ほどで、小磯先輩が亡くなられ、会は解散しました。

「能(能楽)」は、鎌倉時代後期から室町時代初期に完成された日本の舞台芸術の1種であり、現在は日本における代表的な伝統芸能として歌舞伎に並んで国際的に高い知名度をほこっています。

「能」は舞を伴う歌劇と言われています。「謡」は歌劇の歌に相当し、「仕舞」は歌劇の舞踊です。歌劇の伴奏音楽を「囃子(笛、小鼓、大鼓、太鼓)」が担当しています。「能」の台本である「謡曲」では、物語の筋は親子の情とか、恋愛とか、嫉妬、復讐、武士かたぎなど、一つの観念なり情緒なりを訴えることに重点がおかれています。

さて、4年前の東村山市民文化祭で「能楽を楽しむ会」に出会ったことが、私を再び「能」と関係を持つきっかけになりました。東村山在住の人たちが10年ほど前から、宝生流能楽師小林晋也先生を講師にお願いし、現在、中央公民館での月3回の「仕舞」と「謡」の稽古をするサークル「能楽を楽しむ会」を運営しています。このサークルは「仕舞」と「謡」の稽古だけでなく、「能楽講座」で能楽について理解を深めたり、能楽舞台の見学、能楽で語られている史跡の探訪など、能楽を楽しむことをモットーに活動を続けています。



今月の行事（5月）

- 8日（土） 5月度役員会
5,6月度お誕生会
カラオケ同好会
10日（月） テニス同好会
14日（金） 園芸の会
22日（土） ウォーキングの会

6月前半の予定

- 5日（土） 6月度役員会
雑学講座
カラオケ同好会
7日（月）～ 旅行同好会
8日（火）
14日（月） テニス同好会



編集局だより

○4月の初めに冬物をクリーニングに出してしまいました。一度に片付けてしまうつもりがたまたま出し忘れたコートもあり、その時は忘れて失敗したなどと思っていました。でも、何が幸いするか分かりません。4月に雪が降るとは。また厚手のコートを着る羽目になりました。早々と全部クリーニングに出さなくて本当に良かった！

○「雪月花」という言葉を4月の雪で思い出しました。四季折々の美しい自然。特に春の桜、秋の月、冬の雪を言うのでしょうか、桜が咲いているところに雪が降り、月が出ているという雪月花が全部揃う風景を一度は見てみたいものです。

○次号の原稿締め切りは5月20日（木）です。よろしくお願いいたします。（中村）

fax: 042-391-0581 email: mym-naka@u01.gate01.com

俳壇

遅日かな日輪覗く地平線 戸田 梟
もう少し遊んでいても良い遅日 内藤 慎
盛り上がるお国自慢や花の宴 丸本 北窓
誰が吹くや草笛高し小諸城
塾の子の浮子を見つめる遅日かな 八木 竜湖
往く水に囁きにけり猫柳
平行に光るレールに暮遅し 栗島 三郎
永き日の鳥の巣箱に孵化の声
惜春や老いのひと日の迅かりき 井垣 稻雀
暮れ遅しいつものバスの窓の外
佐保姫の気紛れに身を震わせて 出田 麦穂
聞こえ来る花いちもんめ夕長し
古本を売るか残すか暮遅し 大西 回生
目を閉じて耳を澄まし立つ春の丘
春一に揺れる梢の薫かな 風間 和夫
春一番杖を頼りの散歩道
盛り場のネオン空ろに暮遅し 菊田 一平
ぶらんこや鉄の匂いの掌
クリスマスローズ手を振る三木てるみ
やはらかく混ぜてパスタの三月菜 幸田 瑞雄
囀りの満ちし林の家族連れ 小永井 哲哉
暮れかぬる団地ふんはり魚焼く香
雨の日は雨のにほひの沈丁花 高部 糸行
花むしろ割れてこぼるる中華菓子
病名の一つまた増え夕長し
お隣と子育て競う軒ツバメ